

——桃山時代に遡る。

唐津市

唐津焼

KARATUYAKI

力強さとあたたかさ

1592年（文禄元年）豊臣秀吉が朝鮮出兵を行った際に、朝鮮の職人によって作られたのが始まりだと言われている

佐賀県・長崎県周辺で作られている陶磁器、唐津焼

16世紀の頃から作られている伝統工芸品 陶器を始め様々な種類が作られている

「1 楽、2 萩、3 唐津」

当初は日用食器として利用されていたが、

唐津焼本来の素朴さや、わびさびを感じさせる味わいなどが好まれるようになり、

次第に茶の湯道具として使用されるようになっていった

桃山時代には茶の湯の名品という地位を確立し、

焼き物といえ**ばからつもの**と呼ばれるほど有名になる

他の産地に比べ種類が多いことで有名

「土もの」と呼ばれる陶器

▽唐津焼△

日本独自の美意識侘び寂びにつながるシンプルさ、茶道の中では代表的な器として重宝されていた

使うことで

価値が増す用の美

花を生ける盛ることで
完成する焼き物

絵唐津・日本で初めて絵付けを施したといわれる唐津焼

まだらからつ
- 斑唐津 -

白濁した藁灰釉を用いる

なかざとむあん
中里無庵

1895~1985

江戸時代以降は窯場の乱立による山が荒廃し、佐賀藩が取り締まりを始める

佐賀藩が乱立する窯元を取り壊して有田へと集約したことで、窯元の数は大幅に減少した。明治維新以降も窯元は減少し続けたが、その後、人間国宝である中里無庵の手によってその技術が復元された

くろからつ

- 黒唐津 -

鉄分を多く含んだ釉薬を用いて焼き上げたもの。